



N4 - 第38

V普通形 の

Danh từ hoá động từ, biến động từ thành danh từ

V普通形 のは Aです

Biến động từ thành chủ ngữ

V普通形 のが Aです

Biến động từ thành danh từ là chủ thể có các tính trạng.

V普通形 のを V

Biến động từ thành tân ngữ là đối tượng chịu tác động của động từ chính

V普通形 のは Nです

の được dùng để thay thế danh từ biểu thị đồ vật, người, địa điểm để nêu ra chủ đề của câu văn



1. 絵をかくのは楽しいです。
2. わたしは星を見るのが好きです。
3. 財布を持って来るのを忘れました。
4. わたしが日本へ来たのは去年の3月です

1. 日記を続けていますか。 ...いいえ、3日でやめてしまいました。始めるのは簡単ですが、続けるのは難しいですね。
2. 花がたくさんあって、きれいな庭ですね。 ...ありがとうございます。夫は花を育てるのが上手なんです。
3. 東京はどうですか。 ...人が多いですね。それにみんな歩くのが速いですね。
4. あ、いけない。 ...どうしたんですか。

車の窓を閉めるのを忘れました。

5. 木村さんに赤ちゃんが生まれたのを知っていますか。 ...いいえ、知りませんでした。いつですか。

1か月ぐらいまえです。

6. 初めて好きになったのことを覚えていますか。 ...ええ。彼安に初めて会ったのは小学校の教室です。彼女は音楽の先生でした。



片づけるのが好きなんです

大学職賞：ワット先生、回覧です。

ワット：あ、すみません。そこに置いといてください。

大学職員：発生の研究室はいつもきれいですね。

ワット：わたしは片づけるのが好きなんです。

発学職質：本もきちんと並べてあるし、物も整理して置いてあるし…。製理するのが上手なんですね。

ワット：昔「上手な整理の方法」という本を書いたことがあるんです。

大学職員：へえ、すごいですね。

ワット：あまり売れませんでしたけどね。よかったら、1冊持って来ましょうか。

大学職員：おはようございます。

ワット：あ、本を持って来るのを忘れました。すみません。

大学職員：いいですよ。でも、回覧にはんこを押すのを忘れないでください。先月も押してありませんでしたよ。

しずかとあすか

しずかとあすかは双子の姉妹です。今は小学校5年生です。顔はほんとうによく似ていますが、性格はずいぶん違います。姉のしずかはおとなしくて、優しい女の子です。本を読んだり犬の世話をしたりするのが好きです。特に外国の小説が好きで、本を読んでいると、時間がたつのを忘れてしまいます。

妹のあすかは外で遊ぶのが大好きです。試験はいつも50点ぐらいですが、走るのはクラスでいちばん速いです。それに、男の子とけんかしても、負けません。

何か買うときも、よく考えてから、買うのはしずかです。

あすかは欲しいと思ったら、何でもすぐ買います。

同じ両親から同じ日に生まれて、同じ家で生活している2人の性格がこんなに違うのは不思議です。

問題 1 :

- | | |
|--------|---------|
| 1. 思う | 1. 音 |
| 2. 楽しむ | 2. 色 |
| 3. 楽 | 3. 写真家 |
| 4. 楽しい | 4. 画家 |
| 5. 白い | 5. 映画音楽 |
| 6. 赤い | 6. 料金 |
| 7. 黒い | 7. 赤ちゃん |

問題 2 :

1. テレビの画面に赤道の近くの国が映っている。
2. この料理の特色はいろいろな材料が入っていることです。
3. 先生が黒板に字を書いて、学生は発音の練習をします。
4. 中国料理と日本料理とフランス料理の中で何が一番好きですか。
5. 真夜中にテレビで音楽番組や外国映画をよく見ます。
6. 彼女は色が白く、黒くて長いかみがきれいです。
7. この字は画数が13画で、くん読みが「たのしい」、音読みが「ガク」と「ラク」です。
8. 電気料金もガス料金も高くなったから、今月も赤字だ。
9. ふゆに白い雪の中でスキーをしたことは、楽しい思い出です。

<夢>

今日は真理子さんとデートだ。6時におきた。いつもより1時間も早い。ひげをそって、くつをみがいてから、家を出た。

9時に真理子さんの家に着いた。ドアが開いて、真理子さんが出てきた。白いワンピースがとてもきれいだ。はじめに映画を見に行った。日曜日の映画館はかなりこんでいたが、映画はおもしろかった。

映画の後、フランス料理のレストランへ行った。レストランの中は、少し暗くて、かべには古い写真があり、静かな音楽が聞こえる。とてもいいムードだ。料理もおいしい。ワインを飲んで、真理子さんのほおは少し赤い。ほくは目をつぶった。

そして思い切って真理子さんに言った。「真理子さん、ほ、ほ、ほくとけっこんしてください！」

その時、ベルの音が聞こえた。目を開けると、ほくはベッドの上にいた。

ありがとうございました。

